

# 命の時代

シリーズ～終末を生きる～

2017/12/10 アドヴェント第2週

## ローマの信徒への手紙5章18,21節

「そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。…こうして、罪が死によって支配していたように、恵みも義によって支配しつつ、わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導くのです。」

# 罪によって死がもたらされた

- 一人の人(アダム)の罪によって死が人類に入り込んだ
  - 「ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」創世記2:17
  - 「アダムは930年生き、そして死んだ。」5:5
- 律法違反(罪)の報いは死である
  - 「見よ、わたしは今日、命と幸い、死と災いをあなたの前に置く。」申命記30:15
  - 主に従うことを学ばせるためだったが…

# 罪が死によって支配した時代

- 死をもたらす力のある者が世界を支配する(死による支配)
  - 武力の増大・戦争の拡大
- 現世における幸福(祝福)の追求
  - 死をもってすべてがおわるのだから
- 死が支配することによって、人間の罪(醜さ)は増大した！

# 罪の清算と死の再定義

- 一人の人(イエス・キリスト)によって罪が清算された
  - 「一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになった」
  - 「イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。」ローマ4:25
- キリストが復活された瞬間に、罪と死の時代は終わった
  - 死が終わりではなくなった！

# 罪の死による支配の終焉

- 戦争(殺し合い)を終わらせるのではなく、無力化する

– 「死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」

コリントー15:55

- ローマ帝国を変えたのは武力ではなく、弟子たちの殉教だった

– 死を恐れないこと以上に強力な武器はない

# 恵みが義によって支配する

- **罪（人間の身勝手）ではなく、恵み（神の恩寵）が義（神の正義）によって支配する**
  - 「恵みも義によって支配しつつ、わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導くのです。」
  - 死をもって終わらない。永遠の命の到来
- **現世における幸福追求の無意味化**
  - 「富は、天に積みなさい。」マタイ6:20
  - 「隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」6:4

# 命の時代をもたらすために

復活

(永遠の命)

死が無力になったことを証明し、納得させなければならない

死

間違いなく死んだことを確信させなければならない

誕生

(この世の命)

人として生まれたことを証言させなければならない

# 命の時代をもたらすために

復活

(永遠の命)

イースター

死

十字架

誕生

(この世の命)

クリスマス

# 死と命の時代の混在

- 命の時代が始まったが、世界は相変わらず殺し合いによって覇権を争い、現世利益の追求は加速するばかりである
  - 「刈り入れまで、両方とも育つままにしておきなさい。刈り入れの時、『まず毒麦を集め、焼くために束にし、麦の方は集めて倉に入れなさい』と、刈り取る者に言いつけよう。」  
マタイ13:30
  - 最終的な刈り入れ(終末)まで、この状態は続く

# 命の時代を正しく生きる

「こうして、罪が死によって支配していたように、恵みも義によって支配しつつ、わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導くのです。」

- **罪と死の原理に支配されない**

- 「体を殺しても、その後、それ以上何もできない者どもを恐れてはならない。」ルカ12:4

- **永遠の命の原理に支配される**

- 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」マタイ6:33

# 天には栄え

天には栄え 御神にあれや  
地には安き 人にあれやと  
御使い達の たたうる歌を  
聞きて諸人 共に喜び  
今ぞ生まれし 君をたたえよ

# 天には栄え

定め給いし 救いの時に  
神のみくらを 離れて降り  
御霊によりて おとめに宿り  
世人の中に 住むべきために  
今ぞ生まれし 君をたたえよ

# 天には栄え

朝日のごとく 輝き昇り  
御光をもて 暗きを照らし  
土より出でし 人を生かしめ  
尽きぬ命を 与うるために  
今ぞ生まれし 君をたたえよ